

# ウトナイ湖通信



ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

No.237

2024年2月号



樹々が葉を落としている冬期は、シマエナガを始めとする小鳥たちを観察しやすい季節です。これまで気づかなかった小鳥たちのしぐさや行動を見ることができるかもしれません。

ウトナイ湖は、周囲約 9km、面積約 275ha、平均水深約 0.6m の淡水湖です。鳥類はこれまでに約 270 種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

## 2月のイベント情報

### お気軽ガイドウォークinウトナイ湖

2月11日(日) 10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが 40 分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内するガイドウォークです。荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

定員：10 名程度

対象：どなたでも(小学生以下保護者同伴)

申込：不要。直接当センターへお越し下さい。

※参加される方は、防寒着を着用し、雪上を歩ける靴でお越しください。



## 市民ギャラリー



### 小林誠 写真展

「北海道のちっちゃな大自然 ～北海道の野生の生き物たちを知ろう～」

開催期間：2024年2月10日(土)～2月24日(土) 展示：小林誠氏

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間：午前 9 時～午後 5 時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



～ウトナイ湖～

・国指定鳥獣保護区特別保護地区  
・ラムサール条約湿地  
・東アジア・オーストラリア地域  
フライウェイ・パートナーシップ



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



## カケス

### 原因：窓ガラスに衝突



診察時の様子



診察時の様子

1月 6日

建物の窓ガラスに衝突し、動けずにいたところを保護され、直ちに当センターへ搬入される。



一過性の脳しんとうだったのか、初診時にはすでに意識ははっきりしていた。触診をするも、骨格等に異常は認めなかったため、室内で飛翔確認。

リリース

これについても異常を認めなかったため、当日のうちにリリースとなる。

### カケス（スズメ目 カラス科）

全長33cm。雌雄同色。北海道全域に分布しており、繁殖期は山地の森林、非繁殖期は平地の森林、公園林、河畔林などで生息しています。種子や昆虫類、は虫類のほか、ネズミなどの小動物も食べます。秋にはドングリを貯食し、樹洞や浅く掘った地面などに隠すため、種子散布に一役買っていると言われています。

## トピックス



### 12月10日にお気軽ガイドウォークを開催

12月のお気軽ガイドウォークでは、28名もの方にご参加いただき、当センターのレンジャー、ボランティアと一緒に観察路をまわりました。水辺では、オジロワシやダイサギなどを、森の中では、コナラのドングリやツルウメモドキの果実などが観察でき、初冬のウトナイ湖を楽しめました。



### ボランティア体験講座 2023 年度終了

本講座も12月の回で今年度最後となりました。受講後にボランティアになられた方には、これから様々な活動を通じて当センターを盛り上げていただければと思います。また、過去に受講し、今は講座のスタッフ側としてサポートいただいたボランティアの皆さまありがとうございました。





## ボランティアコーナー

当センターのイベントや調査活動に積極的に参加され、ご自身でも野鳥観察を楽しんでいる藤野さんにインタビューしました

当センターのボランティアに登録しようと思ったきっかけを教えてください。 【野鳥をきっかけに】 藤野 訓 氏

道の駅で講座を知り、野鳥観察が趣味なので参加しました。野鳥や植物、虫などの自然観察と保護、啓発の取組みを熱心にされていることに感銘を受け、そのお手伝いを少しでもできたらと思い夫婦で登録しました。



植物の解説について話し合う藤野氏

当センターのボランティア活動に参加して、良かったことはありますか？

知識と経験の豊かな獣医師やレンジャーさん、ボランティアさんがいるので、自身の知識の向上だけでなく、啓発の意識が高まり身近な人に伝えることが増えました。またボランティア同士の交流もとても楽しいです。

野鳥や自然観察の楽しさや魅力があれば教えてください。

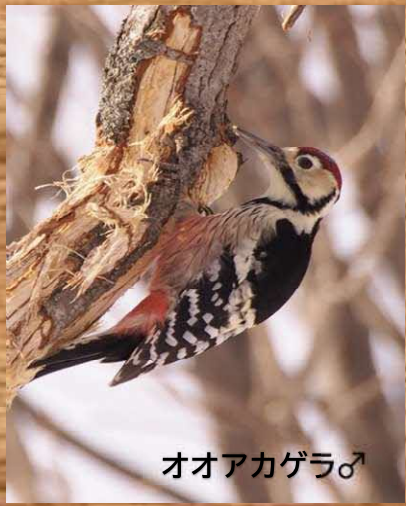
野鳥は山や森に入らなくても街や庭先にもいますし、鳥の生活を観察すると、食べている木の実や虫のことも知りたくなります。北海道固有の種類もたくさんいるので、旅先ではその違いに驚いたり、日常が楽しく豊かになることが野鳥観察の大きな魅力です。

## ウトナイ湖 お楽しみコーナー

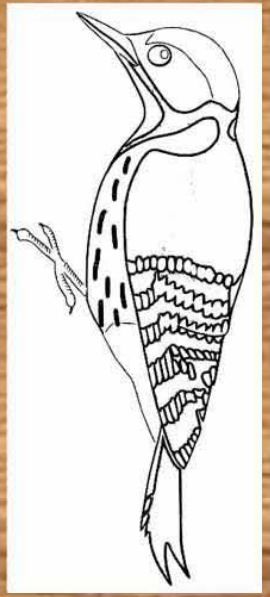
### 【ウトナイ湖・めりえ】

ウトナイ湖の冬の林で、林に響くような音で木をつついてるキツツキの仲間が見られることがあります。

コゲラ、アカゲラ、オオアカゲラがよく見られます。今回はその中の「オオアカゲラ」のオスをめってみましょう♪



オオアカゲラ♂



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)





